

# 端山古墳(糸島市)

はやま

正面が前方後円墳である端山古墳の後円部/手前に前方部があったのだが、削平されてしまっている/北側から見たところ



# 端山古墳 Hayama Tomb

糸島市三雲字塚廻り

中国の歴史書『魏志倭人伝』に記された「伊都国」の中心部に築かれた前方後円墳です。前方部は北を向きますが、破壊されて現在は後円部のみが残っています。

1974年(昭和49年)に行われた調査によって、前方部基部の石列が検出され、先端部が横に突出していたことが確認されました。墳丘の規模は、全長76.5m、後円部の直径約42m・高さ約6m、前方部の長さ約38m・幅約23mです。前方部は二段築成で、斜面には菅石が葺かれ、周囲には溝の周溝が廻っていました。周溝を含む全長は約99mです。

主体部は未調査ですが、周辺から出土した土器から、この古墳は4世紀はじめごろに築かれたと考えられ、この古墳の前にある築山古墳よりも先に築かれたと考えられています。また、古い記録には、付近に「茶臼塚」と呼ばれる古墳が存在したことが記されていますが、その位置は確認されていません。

この古墳に葬られたのは、弥生時代の「伊都国」の王に代わってこの地域を支配した、大和政権と深いつながりをもつ豪族であったと考えられています。



端山古墳断面図(復元)

This tomb, which has a square front and a circular rear, was constructed at the central portions of the Ito kingdom. The front section of the tomb faces the North, however currently only the damaged rear section remains. The length of the hill upon which the tomb rests is about 76.5 meters, the diameter and height of the rear are about 42 and 6 meters respectively, the length and width of the front are about 38 meters and 23 meters respectively. The slope is covered by stones and around the perimeter runs a trench. The total length of the outside perimeter trench is 99 meters. While the central section has yet to be examined, according to excavated artifacts from the perimeter, the tomb is believed to have been constructed during the start of the 4th century. However, it is also thought that this tomb was constructed earlier than the Takiyama Tomb, which is located just to the South. Although old records indicate the existence of a "tomb" near "Susuzuka" nearby, the exact location has yet to be identified. The remains of the burial in this tomb are believed to have been those of a powerful family that had a significant ties with the Yamato regime and the Ito kingdom. It is thought that the tomb was built during the Yayoi period.

糸島市教育委員会

# 端山古墳

Hayama Tomb

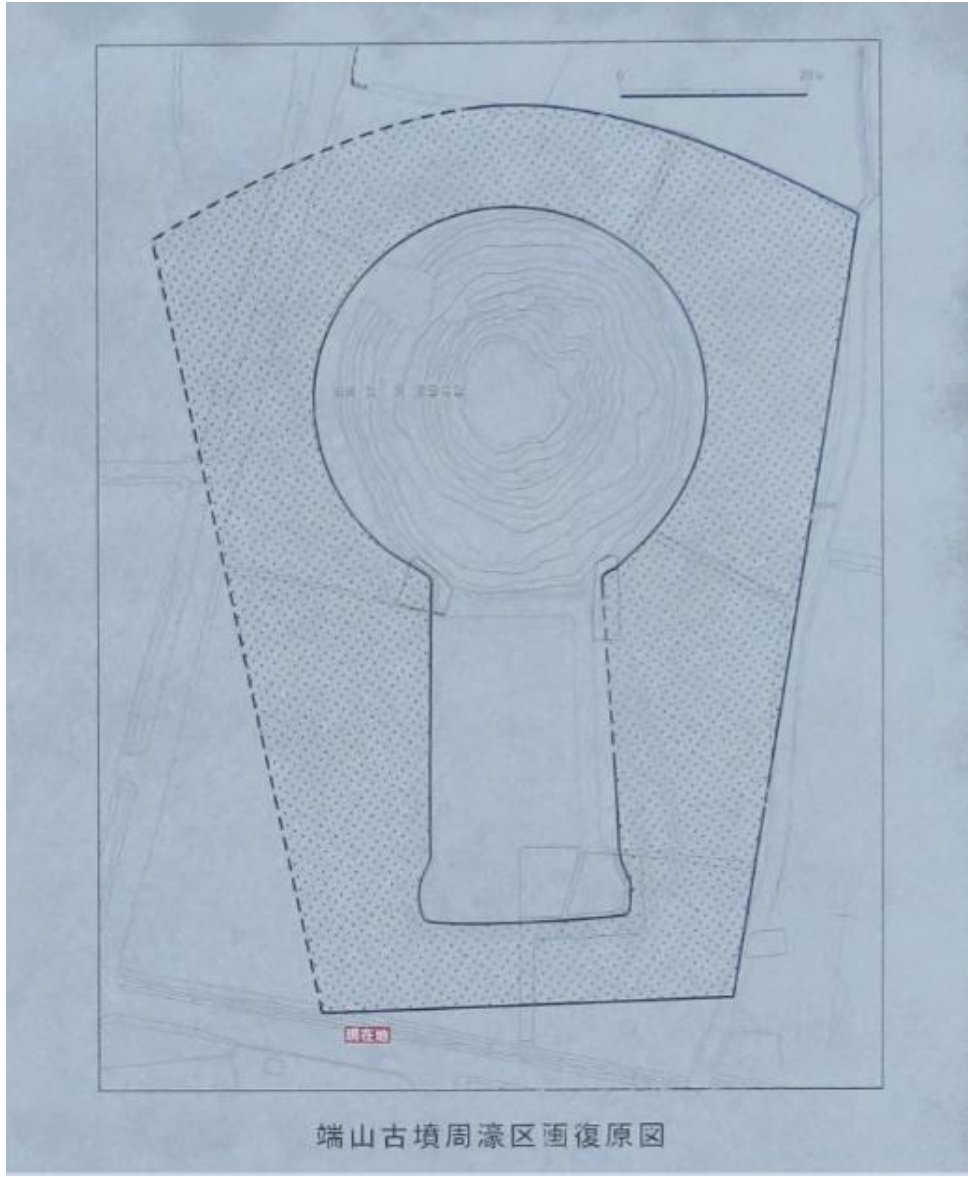
糸島市三雲字塚廻り

中国の歴史書『魏志倭人伝』に記された「伊都国」の中心部に築かれた前方後円墳です。前方部は北を向きますが、破壊されて現在は後円部のみが残っています。

1974年(昭和49年)に行われた調査によって、前方部基部の石列が検出され、先端部が横に突出していたことが確認されました。墳丘の規模は、全長78.5m、後円部の直径約42m・高さ約8m、前方部の長さ約38m・幅約23mです。前方部は二段築成、後円部は三段築成で、斜面には葺石が施され、周囲には盾形の周濠が廻っていました。周濠を含む全長は約99mです。

主体部は未調査ですが、周辺から出土した土器から、この古墳は4世紀はじめごろに築かれたと考えられ、この古墳の南にある築山古墳よりも先に築かれたと考えられています。また、古い記録には、付近に「茶臼塚」と呼ばれる古墳が存在したことが記されていますが、その位置は確認されていません。

この古墳に葬られた人は、弥生時代の「伊都国」の王に代わってこの地域を支配した、大和政権と深いつながりをもつ豪族であったと考えられています



端山古墳周濠区画復原図

端山古墳(右手)の前方部のあった状態が見て取れる/平原遺跡にある説明坂の写真より



北東側から後円部を見たところ/周囲には盾形の周濠が廻っていたと云う



アップで見たところ/三段築成であると云う



東側から見たところ/右手に前方部があった/墳丘には葺石が施されていたと云う





南側から見たところ/4世紀初め頃の築造と云う



参考ホームページ

<https://blog.goo.ne.jp/noda2601/e/2c21efcebb7c40ea0af5e119cae3c1bf>

<https://ameblo.jp/indyaki12/entry-12382448383.html>

<http://www.buccyake-kojiki.com/archives/1017875104.html>

<https://kofunoheya.blog.fc2.com/blog-entry-1678.html>

[http://blog.livedoor.jp/marbow\\_archo/archives/51743097.html](http://blog.livedoor.jp/marbow_archo/archives/51743097.html)

<http://kofun.dosugoi.net/e1042505.html>

[https://s.webry.info/sp/lovery-iruka.at.webry.info/201307/article\\_6.html](https://s.webry.info/sp/lovery-iruka.at.webry.info/201307/article_6.html)

